

令和 8 年 7 月 13 日

総 務 大 臣 殿

福岡県八女市黒木町今 1314-1
一般財団法人 FM八女
理事長 櫛川 龍也

放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第 8 条第 1 項第 3 号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

番組審議会議事録（第 85 回 令和 8 年 6 月 25 日書面開催） 1 部

以上

第85回 FM八女番組審議委員会 議事録

- 1 開催日 令和8年6月25日（木）
午後4時00分を予定していたが大雨の為災害対応等を考慮し書面開催に変更した。
- 2 開催場所 -
- 3 出席者 委員総数 7名
レポート提出委員 7名 青木歳男 酒井裕樹 中村元紀 白鳥隆之
小森大作 川床祐子 東千紘
- 4 議題 「開局14周年記念スペシャル」
令和8年6月1日 月曜日 13:00～15:00
- 5 議事の概要 CDに収録し、資料とともに各委員へ届けた上で、
上記の番組について、モニター後の感想を全委員に述べていただいた。
- 6 番組内容 FM八女開局14周年を記念した特別番組

7 審議内容

■ 番組全体について

- 開局14周年を記念した特別番組として、各曜日のパーソナリティが出演し、局の歴史やエピソードを振り返る構成となっており、特別感や14年間の歩みが感じられる内容であった。
- 新放送局長の挨拶から新体制への期待感と、FM八女らしい温かな雰囲気が伝わった。
- 市内外だけでなく海外からもメッセージが寄せられ、地域とのつながりやリスナーとの絆を感じられる放送となっていた。
- ラジオで顔が見えない分、声のトーンなど想像しながら聞いている中、やりがいをもって楽しんで仕事をしていることが伝わり、また、非常に地域から愛されるFM八女らしさが伝わった。

■ 各コーナーについて

- ダニー馬場氏の生ライブは歌唱力も高く、アーティストとしての魅力が十分に伝わった。
- 「なつみ&ジレ リポート」では、市内店舗の紹介が分かりやすく、商品の魅力や店舗情報が伝わり、実際に足を運びたい内容であった。
(中には、ラジオを聞いて実際に出向いた方もいらっしやった。)
- 熊谷泰子氏の新番組紹介では、「またよんでね」という番組タイトルの由来や絵本にまつわるエピソードが印象的で、新番組への期待が高まった。
- FM八女と同じ14歳を迎える市民の方のCMなども地域密着型放送として好感度が持てる。

■ 新たな取り組みについて

- インスタライブ、YouTubeライブ、ラジオを組み合わせたメディアミックスの取り組みは、新しいリスナー層の獲得につながる有効な試みだと感じるので、続けていってほしい。
- 一方で、ラジオとインスタライブの進行に違いがあり、視聴すると別番組のように感じる場面や、YouTubeで無音時間が発生する場面も見受けられたため、各媒体の特性を生かした運用や改善を期待したい。

⇒YouTubeでは、放送中の楽曲は著作権の関係でかけられないので、無音になってしまう。

■ 改善点・要望

- 特別番組として内容は充実していたが、やや盛り込み過ぎとの印象もあり、コーナー数や構成を整理したり、複数回に分けて放送したりする方法も検討してはどうか？
- 一部パーソナリティ同士の会話でテンポが合わない場面があり、工夫の余地があると思う。
- 中継では店舗所在地など、より具体的な情報があるとさらに分かりやすいと思う。
- 中継時、マイクでゲストの声を拾い切れていなかったのは、改善の余地あり。
- メールアドレスなどの読み上げについては、確認しながら丁寧に伝える姿勢が良かった。

総括

- 開局14周年という節目にふさわしく、これまでの歩みや地域とのつながり、FM八女の存在意義を感じられる内容であったとの評価を頂いた。
- 新番組やメディアミックスなど、新しい挑戦を積極的に取り入れる姿勢はFM八女の強みであり、今後も継続して取り組んでほしいとの期待が寄せられた。
- 地域情報の発信や防災放送を担うコミュニティ放送局として、今後も八女市民に親しまれる放送を続けてほしいとの意見を多数頂いた。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

9 次回の番組審議委員会

日時 令和8年8月27日（木） 午後4時00分

場所 FM 八女会議室（八女市役所黒木支所 2 階）

社 名	一般財団法人 FM八女
-----	-------------